



北京冬季パラリンピック

高橋幸平選手、北京の地で健闘

感動をありがとう！

北京冬季パラリンピックの日本代表選手として、本町出身の高橋幸平選手がアルペンスキー競技に出場しました。3月13日に行われた男子回転に出場した高橋選手は、計2回の滑走で安定感を見せ、日本勢最高の12位で競技を終えました。高橋選手は大会直前の練習中に右ひざを負傷。そのため、滑降や大回転などの他種目への出場を断念しました。パラリンピック開幕以降もリハビリなど体の調整を入念に行い、同日の回転に照準を合わせて本番に臨みました。

町公民館で同日、高橋選手の雄姿を見届けようと後援会や町スキー協会の関係者ら約30人により、テレビの生中継に合わせて観戦会を実施。高橋選手自身、2度目の挑戦となったパラリンピックの大舞台で堂々と滑走する姿に、熱い視線が注がれました。高橋選手の父・健太郎さんは「きょう無事に滑ることができたのは皆さんのおかげ。多くの町民の皆さんに応援してもらった。また、次回のパラリンピックに向かって頑張ってほしい」と話しました。

多くの応援をいただき、本当にありがとうございました。大会前のけがで全種目の出場はかたやみませんでした。1種目だけでも出場してゴールできたことはうれしく、今回の結果を必ず、次へとつなげます。けがの中、出場して滑り切ったことを通して、見えてきた課題もあります。さらに挑戦を続けて、対応力のある選手、自己管理ができる選手を目指していきます。今後とも、応援よろしくをお願いします。